

## SER no.124; 表紙, 目次ほか

雑誌名	国立民族学博物館調査報告
巻	124
発行年	2014-12-25
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10502/00009327">http://hdl.handle.net/10502/00009327</a>

Senri Ethnological Reports

124

SER 124

国立民族学博物館

調査報告

124

The Diary of  
Hisakatsu Hijikata (V)

Hisakatsu Hijikata

Edited by

Ken'ichi Sudo

Hisao Shimizu

National Museum of Ethnology  
2014 Osaka

ISSN 1340-6787  
ISBN 978-4-906962-27-3 C3039

土方久功日記

V

土方久功

著

須藤健一・清水久夫

編



土方久功日記 V

土方久功 著

須藤健一・清水久夫 編

国立民族学博物館 2014

国立民族学博物館 調査報告

124

土方久功日記 V

土方久功 著

須藤健一・清水久夫 編

国立民族学博物館

2014

# 目 次

---

序 文 .....	須藤健一・清水久夫	i
第I部 土方久功日記V		
土方久功日記 第25冊 (1939年1月27日～6月30日) .....		3
土方久功日記 第26冊 (1939年7月1日～12月25日) .....		67
土方久功日記 第27冊 (1940年1月1日～10月15日) .....		155
土方久功日記 第28冊 (1940年10月16日～1941年5月21日) .....		247
土方久功日記 第29冊 (1941年5月22日～1942年2月15日) .....		337
土方久功日記 第30冊 (1942年2月16日～7月13日) .....		425
土方久功日記 第31冊 (1942年7月14日～11月30日) .....		509
註 .....		555
第II部 附 論		
国立民族学博物館所蔵 土方久功「ノート」について .....	清水久夫	575
南洋研究の開拓者——土方日記と先史学・民族学 .....	須藤健一	593

## 凡 例

- 一 本書は、土方久功の自筆日記を翻刻したものである。
- 一 日記の本文は、A5判横書きの大学ノートに横書きで書かれている。
- 一 大学ノートの罫線の枠外に書かれた文字は、〔 〕内に記し、書かれた場所を、〔 〕内に示した。
- 一 欠損文字、抹消された文字は、□等の符号を用い、判読できる部分は□の上部に文字を入れた。
- 一 誤字と思われる文字は、原文のまま記し、上部に〔ママ〕と記すか、上部の〔 〕内に正しい文字を入れた。また、疑問のある文字については、〔○○カ〕と記した。
- 一 「㊦」は「事」、「𠄎」は「トキ」と表記した。
- 一 人名、地名等の固有名詞の表記が一貫していないものがあるが、統一せずに、日記の表記のままとした。
- 一 人名、地名等内容の説明に関する編者の註は、右上に番号を付し、末尾に順に記した。
- 一 原文のままでは理解しがたい文字は、上部の〔 〕内の文字で補った。
- 一 便宜上、適宜句読点を加えた。
- 一 旧漢字は、一部を除き、当用漢字に改めた。
- 一 連続した同じ事柄が数日間にわたって記述されている部分は、原文にならって、その事柄の記述の最後の部分と翌日のその記述の最初の部分にそれぞれ矢印を付し、記述が連続したものであることを示した。
- 一 日記には、現在では差別語とされる用語が用いられているが、その時代の歴史的な用語と考え、原文のままとした。
- 一 本書の刊行に際し、土方久功のご遺族および知人の方々から資料を提供され、示教を得た。深謝の意を表したい。

## Senri Ethnological Reports (最新号)

当館のウェブサイトにてバックナンバーのPDFをダウンロードすることができます。

<http://ir.minpaku.ac.jp/dspace/handle/10502/49>

- No.123 *Некоторые археологические находки Монголо-советской экспедиции под руководством С. В. Киселева: Городище Каракорум, коллекция Государственного Эрмитажа* (2014; Редактор Юки Коながая, Автор Ю.И. Елихина (小長谷有紀編, J. I. エリーヒナ著); ロシア語・英語)
- No.122 梅棹忠夫のモンゴル調査 ローマ字カード集 (2014; 小長谷有紀編; 日本語)
- No.121 *Mongolia's Transition from Socialism to Capitalism: Four Views* (2014; Interviews Conducted by Yuki Konagaya and I. Lkhagvasuren, Translated by Mary Rossabi. Edited and Introduced by Morris Rossabi; 英語・モンゴル語)
- No.120 *Healing Alternatives: Care and Education as a Cultural Lifestyle* (2014; ed. Nanami Suzuki; 英語)
- No.119 20世紀におけるブリヤート人たち——中国内モンゴル自治区フルンボイルにおける口述史 (2014; 小長谷有紀・サラングレル・ソヨルマ編; モンゴル語・日本語)
- No.118 世界における無国籍者の人権と支援——日本の課題——国際研究集会記録 (2014; 陳天璽編; 日本語・英語)
- No.117 中央アンデス農耕文化論——とくに高地部を中心として—— (2014; 山本紀夫著; 日本語)
- No.116 中国鄂伦春語方言研究 (2014; 韓有峰・孟淑賢著; オロチョン語・中国語)
- No.115 モンゴル国における20世紀(3) (2013; 小長谷有紀・J. ルハグワテムチグ・Ma. ロッサビ・Mo. ロッサビ編; 日本語・モンゴル語・英語)
- No.114 モンゴル口頭伝承の一資料 (2013; 小長谷有紀・斯琴編; モンゴル語・ロシア語)
- No.113 *Монголын Бурханы Шашны Соёл: Хэнтий, Хангайн Сүм, Хийдийн Судалгаа* (2013; М.И. Клягина-Кондратьева, Хэвлэлд бэлтгэж, хянасан, С. Чулуун, Т.И. Юсупова (M. E. クリヤーギナ-コンドラティエワ著, S. チョローン・T. I. ユスポワ共編); モンゴル語・ロシア語)
- No.112 *Development Trajectories for Mongolian Women in and after Transition* (2013; Edited by Yuki Konagaya, Maqsooda S. Sarli (小長谷有紀・S. マクスターダ・サルフィ共編); 英語)
- No.111 梅棹忠夫のモンゴル調査スケッチ原画集 (2013; 小長谷有紀・堀田あゆみ共編; 日本語)
- No.110 モンゴル国営農場資料集 (2013; 小長谷有紀・S. チョローン共著; 日本語・モンゴル語)

**[国立民族学博物館刊行物審査委員会]**

須藤健一 館長  
岸上伸啓 副館長  
久保正敏 副館長  
韓 敏 民族社会研究部  
池谷和信 民族文化研究部  
寺田吉孝 先端人類科学研究部  
塚田誠之 研究戦略センター（研究出版委員長）  
野林厚志 文化資源研究センター

平成26年12月25日発行

---

国立民族学博物館調査報告 124

---

著者 土方久功  
編者 須藤健一  
清水久夫

発行 人間文化研究機構  
国立民族学博物館  
〒565-8511 吹田市千里万博公園10-1  
TEL. 06(6876)2151(代表)

印刷 株式会社 遊文舎  
〒532-0012 大阪市淀川区木川東4-17-31  
TEL. 06(6304)9325(代表)

---